

令和6年度地方公共団体職員等研修を開催しました

FAMICでは、地方公共団体職員等を対象に、食品や農業生産資材に係る制度や商品知識、検査分析技術などに関する研修を、毎年全国の事務所・センターで実施しています。今回は、2024(令和6)年7月にFAMIC農薬検査部で実施した残留農薬分析基礎研修の様子についてご紹介します。



農薬検査部で初の開催

本部で開催する地方公共団体職員等研修は、例年、食品等に関する簡易検査などの実技を中心に、埼玉県さいたま市で実施してまいりました。

2024(令和6)年度は、初めての試みとして、東京都小平市の農薬検査部において、残留農薬分析基礎研修として、分析の実技に重点を置いた形で開催いたしました。

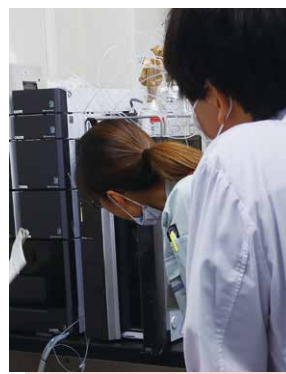


研修の内容



研修では、FAMIC職員による農薬検査部の業務説明、残留農薬の分析技術の基礎などについての講義を行いました。更に、実際に試料となるホウレンソウやトマトなどの野菜から分析サンプルを抽出・精製し、機器分析・解析するなどの実習も行いました。

実技については、職員がほぼマンツーマンで指導を行いました。受講者からは、「疑問に思ったことをその場で質問できてより理解が深められた」、「色々質問しやすかった」などの感想が寄せられました。



FAMICでは、今後も食品の表示方法やJAS制度、農業生産資材の安全性の確保などの業務に関する知見について、研修や講習会などを通じて情報提供していきます。